

「2010年版 介護保険制度の現状把握」

(2010年6月7日掲載)

No.1	2005年までの高齢者保健福祉施策の流れ			
解答	年 代		高齢化率	主な政策
	1960年代	高齢者福祉施策の始まり	5.7% (1960)	<ul style="list-style-type: none"> ■1963年：老人福祉法の制定 ・特別養護老人ホームの創設 ・老人家庭奉仕員(ホームヘルパー)の法制化
	1970年代	老人医療費の増大	7.1% (1970)	<ul style="list-style-type: none"> ■1972年：老人福祉法の改正 ・70歳以上の者および65最上の寝たきり高齢者を対象に老人医療費無料化する老人医療費支給制度の成立, 1973年に実施(この制度は, 1982年の老人保健法制定により廃止)
	1980年代	社会的入院や寝たきり老人の社会的問題化	9.1% (1980)	<ul style="list-style-type: none"> ■1982年：老人保健法の制定 ・老人医療費の一定額負担の導入等 ・老人保健法は, 2008年4月に「高齢者の医療確保に関する法律」に改称 ■1986年：老人福祉法の改正 ・老人ホーム入所措置などの国庫補助率を7/10から5/10に引き下げた ■1986年：老人福祉法の改正 ・老人ホームへの入所措置などの団体委任事務化およびショートステイ事業, デイサービス事業の法定化 ■1989年：ゴールドプラン(1990~1999年度)の策定 ・施設緊急整備と在宅福祉の推進
	1990年代	ゴールドプランの推進	12.0% (1990)	<ul style="list-style-type: none"> ■1990年：老人福祉法の改正 ・特養ホームなどの入所決定など事務の町村への委譲, 在宅福祉サービスの積極的推進, 市町村・都道府県における老人保健福祉計画の策定 ■1994年：老人福祉法の改正 ・在宅介護支援センターの法定化, 処遇の質の評価, 市町村の情報提供義務などが盛り込まれた ■1994年：21世紀福祉ビジョンの提示

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2010 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

			<ul style="list-style-type: none"> ・ゴールドプランの目標値を上回る高齢者福祉サービスの整備が必要であるとした ■1994年：新ゴールドプラン(1995～1999年度)の策定 <ul style="list-style-type: none"> ・「ふるさと21事業長寿のまちづくり事業」の推進 ・在宅介護の充実 ・「高齢者介護・自立支援システム研究会報告」(厚生省)
	介護保険制度の導入準備	14.5% (1995)	<ul style="list-style-type: none"> ■1995年：高齢社会対策基本法の制定 ■1996年：高齢社会対策大綱の閣議決定 ■1996年：連立与党3党政策合意 <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度創設に関する「与党合意事項」 ■1997年：介護保険法の制定 ■1999年：ゴールドプラン21(2000～2004年度)の策定 <ul style="list-style-type: none"> ・特に、介護サービス提供量を数値によって示した
2000年代	介護保険制度の実施	17.3% (2000)	<ul style="list-style-type: none"> ■2000年：介護保険の施行 ■2001年：新高齢社会対策大綱の閣議決定 ■2005年：介護保険法の改正 <ul style="list-style-type: none"> ・予防重視システムの導入、保険給付の効率化と重点化、新たなサービス累計の創設など ■2005年：老人福祉法の改正 <ul style="list-style-type: none"> ・有料老人ホームの定義の見直し、地域密着型サービスの創設に伴う規定の整備

(参考:社会保障審議会介護保険部会資料 等)